

001

ファンタジー・SF1

角川書店

9136



きまぐれロボット

きまぐれろぼと

著 星新一

この本には短いお話がいくつも書いてあり、一つの物語が五分くらいで読めるので、ちょっと時間があるとき、本を読むのが苦手な人でも楽しみながら読める本です。例えばあるお話では、すごく便利で面白いロボットができたと聞いて買った人が、使っていたら故障したかと思いきや…。など、結末が知りたいというわくわくした気持ちになれます。一度読んだら止められなくなるはずです。／若葉中 M.K

星新一さんは1001編のショートショートを書いたことで有名です。ほかの本もぜひ探してみてください。

002

ファンタジー・SF1

講談社

9136



霧のむこうのふしぎな町

きりのむこうのふしぎなまち

作 柏葉幸子 絵 竹川功三郎

中学生には幼すぎるものなのでは…と思う人もたくさんいると思います。私はこの本を小学校三年生のときに読みました。とても面白かったです。ただ、その面白い理由を聞かれると、どうも答えにくい自分がいました。でも、中学生になってもう一度読み返してみたいです。すると、前に読んだ時よりも、確実に面白くて、主人公のリナが繰り返し広げる、ふしぎな旅を見事に表現しているなあと感心しました。皆さんにもぜひ読んでもらいたいです。／桜丘中 ムー★

『不思議の国のアリス』をおすすめしてくれた人もいましたが、前に読んだ本、読んだつもりの本をもう一度読むのも、新しい発見がありそうですね。

003

ファンタジー・SF1

求龍堂

933



チョコレート・アンダーグラウンド

ちょこれーと・あんだーぐらうんど

著 アレックス・シアラー 訳 金原瑞人

この本は、チョコレートをとりにかえすために、仲間との絆を深める物語です。最初は意見がぐいちがったり、けんかして仲間割れをすることもあります。でもそういうことがあったからこそ、絆がより深まり、思いやる心もできるのだと思います。一人ではできないことも仲間みんなで行えばできることもあると、わたしはこの本を読んで学びました。子どもたちが、大人に向かって戦うところはとてもかっこいいです。／菊井中 O.Y

チョコレートを禁止されるなんて、驚くような法律ですが、何かを禁止されることはよくある話です。そんなときどうするか、考えさせられますね。

004

ファンタジー・SF1

アスキー・メディアワークス

9136



キノの旅-the Beautiful World-シリーズ

きののたび-ざびゅーていふる わーど-しりーず

表紙:キノの旅-the Beautiful World

著 時雨沢恵一 絵 黒星紅白

キノと仲間たちのアクションやリアクション(セリフ)がとてもおもしろいので、ぜひ読んでみてください。

005

ファンタジー・SF1

新潮社

9136



しゃばけ

しゃばけ

著 島中恵

主人公一太郎の家にいるよう怪たちがとても個性的でおもしろく、一太郎とのやりとりがとても楽しいです。



I like books!!

What is your favorite book?



006

ファンタジー・SF1

メディアファクトリー

953

タラ・ダンカンシリーズ

たら・だんかんしりーず

表紙:タラ・ダンカン 若き魔術師たち(上)

著 ソフィー・オドゥワン・マミコニア 訳 山本知子

魔術師のタラ・ダンカン
を主人公にエルフや
小人などが登場します。
ファンタジーの魅力がぎ
ゅっとつまった本です。



007

ファンタジー・SF1

岩波書店

933

ナルニア国物語シリーズ

なるにあこくものがたりしりーず

表紙:ライオンと魔女

作 C.S.ルイス 訳 瀬田貞二

この本を読み終えた
とき、たんすの中をのぞ
いてしまいました。それ
くらい、引き込まれるお
話なのです。



008

ファンタジー・SF1

静山社

933

ハリー・ポッターシリーズ

はりー・ぽったーしりーず

表紙:ハリー・ポッターと賢者の石

作 J.K.ローリング 訳 松岡佑子 絵 ダン・シュレンジンジャー

ハリーのいろいろな
行動に、読むたびにド
キドキします。ハリーの
友情関係や、不思議な
魔法も見どころです。

選定委員からの
メッセージ

ファンタジー・SF1



私の好きなとあるアーティストは、子どものころ近くに図書館がなかったので、借りた本を長く楽しもうとノートにすべて書き写し、余白に自分で考えたサイドストーリーを書き込んでいったそうです。

私はこの話を聞いたとき、『はてしない物語』(ミハエル・エンデ作 岩波書店)を思い出しました。物語の本筋から去っていくとき、「けれどもこれは別の物語、いつかまた、別のときにはなすことにしよう。」と新たな冒険をほのめかされる登場人物たち。その広がりにはまさにはてしなく、物語世界のあまりの奥深さに震えが走ったものです。

今回おすすめしてもらった本も、物語として書かれた部分を入口として、その向こうにはそれぞれの世界がはてしなく広がっていることでしょう。多くの世界を訪ね歩くもよし、一つの世界を深く旅するもよし。みなさんのお好みの世界を探してみてください。